

分野1

一人ひとりが個性を活かして安心して働けるまち【産業と仕事】

チャレンジできる担い手の創出

- ・ 何度でもチャレンジする人を応援する仕組みづくり
- ・ 事業者間の連携、世代や地域を超えた人との交流から生まれる人材育成
- ・ 知恵・技・経験を次世代へ伝えるための人材育成
- ・ 事業者、商工会、金融機関、行政が連携し、与謝野ブランドの構築を推進するための体制づくり
- ・ 地域資源を活かして新たな価値を創出する人材の育成

農業の振興

- ・ 新規就農者への支援
- ・ 地域資源を活かした商品・サービスのブランド化の推進（農商工連携・6次産業化など）
- ・ 安心・安全な自然循環農業の推進
- ・ 新しい農業モデルの創出

織物業の振興

- ・ 消費者ニーズに応える織物素材や織物技術の革新
- ・ 織物業における農商工連携・6次産業化の推進
- ・ 高度な織物技術の承継・着物を含む和文化的普及促進

商工業の振興

- ・ 事業者の技術力・経営力の向上のための環境整備
- ・ 起業や業態転換、新事業・新分野への進出の支援

情報発信・流通ネットワークの強化を通じたビジネス環境の整備

- ・ 地域資源の魅力のみえる化
- ・ 地域資源への自信と誇りの醸成
- ・ 流通ネットワークの強化・情報発信力の強化

魅力ある働く場の創出

- ・ ICTや人工知能を効果的に利用した生産性向上と働き方改革の促進
- ・ 空き家・空き工場などを活用した新たな仕事の創出
- ・ 地域資源を活かし、町内に所得を分配できる企業の誘致
- ・ 老若男女すべての人が生涯にわたってやりがいを感じながら働ける環境の整備

Handwritten sticky notes and diagrams illustrating various initiatives and challenges:

- 人材育成 (社内教育)** (Human Resource Development (In-house Education))
- 就職先確保** (Job Security)
- SNSの活用** (Use of SNS)
- 若者の流出を止める** (Stop the Outflow of Youth)
- 10年以内は独立志向を抑制** (Suppress Independence Tendency within 10 Years)
- 丹後で完成品を作るブランド化** (Brandization of Finished Products in Tansu)
- 労働者研修旅行の導入** (Introduction of Worker Training Trips)
- 近未来農業のイメージ** (Image of Near-Future Agriculture)
- 担い手不足** (Lack of Successors)
- 商社の様な会社があれば** (If There Were a Company Like a Trading Company)
- 労働力の減少 (外国人労働者)** (Reduction of Labor Force (Foreign Workers))
- 子育てがやりやすい環境 (子育て)** (Environment Where Child-rearing is Easy (Child-rearing))
- 事業承継 (事業)** (Business Succession (Business))
- 子役に残れる会社 (特)** (Company Where Children Can Stay (Special))
- PCの普及** (Spread of PCs)
- デジタルデバイドの解消** (Elimination of Digital Divide)
- 子役幸福** (Child Well-being)
- 業界一番** (Number One in Industry)
- 楽しい仕事** (Enjoyable Work)
- 販路の確保** (Securing Sales Channels)
- 体験と観光** (Experience and Tourism)
- B to Cへの活用** (Use for B to C)
- 教育旅行 (スピンオフ)** (Educational Trips (Spin-off))
- いなか発信** (Rural Promotion)
- Uターン** (U-turn)
- AIイターン** (AI U-turn)
- 労働力を外国人に求める** (Seeking Labor from Foreigners)

課題 (前期基本計画策定時)

新たな課題

労働力人口減少 (若者流出)	担い手の高齢化	魅力的な仕事がない	コロナ禍の影響大	地域経済構造の変化	ポストコロナを見据えた展開	地域経済振興と住民生活の向上をつなげる	新しい経済循環のかたちをつくる
----------------	---------	-----------	----------	-----------	---------------	---------------------	-----------------

地元を誇りに思い、人の流れを生むまち【交流と発信】

魅力の認識及び「よさの者」づくり

- ・ まちの魅力を発見及び再認識する機会の創出
- ・ 家庭、地域、学校が連携したふるさと教育の充実
- ・ 地域資源の掘起し
- ・ 住民や「よさの者」による情報共有の仕組みづくり
- ・ SNSや動画などを活用したまちの魅力情報の発信
- ・ ITを活用したまちの産品の認知・販売の仕組みづくり
- ・ ふるさと納税制度を活用した「よさの者」づくり

魅力を体験・体感できるコンテンツの開発

- ・ 観光ガイド及びネイチャーガイドなどの育成
- ・ 地域の祭りや地場産業を活かした体験観光の推進
- ・ 自然や歴史・文化などを活かしたグリーンツーリズムの推進
- ・ 郷土食や特産品づくりの推進
- ・ 空き家などを活用した民泊や交流拠点などの施設の充実
- ・ 公共交通の活用及びスローモビリティなどによる町内周遊セテールの確立
- ・ 滞在観光及び交流の拠点となる観光関連施設（公共施設含む）の充実

交流人口増加体制の強化

- ・ 海の京都DMOと近隣市町との連携強化による広域観光の推進
- ・ 与謝野町観光協会を中心としたおもてなしの充実
- ・ イベントなどの交流機会の創出
- ・ 国際交流やインバウンド対応できる受け入れ体制の強化
- ・ 移住検討者・移住希望者・移住者のサポート体制の強化
- ・ 移住を目的としたお試し住宅の普及促進
- ・ 地場産業などと連携したイン・レジデンスの充実

まちの魅力・人の魅力が生み出す与謝野町ならではの「移住・定住」の促進

- ・ 移住検討者・移住希望者・移住者のサポート体制の強化
- ・ 移住を目的としたお試し住宅の普及促進
- ・ 地場産業などと連携したイン・レジデンスの充実

人口減少に
対応する
市町村は
あり、成り
立つ町を
目指す

商業施設が
ないのに、
地元の
産品を
販売する
場所を
作る

新年を
楽しむ
場所を
作る

町外に
移住者
に対して
対応する
場所を
作る

歴史的な
場所を
活用して
観光
拠点に
する

各事業所と
町外
連携し、
観光
拠点に
する

現在企業
が
活用
している
場所を
活用
する

観光客が
来ると
する
場所を
作る

観光客が
来ると
する
場所を
作る

人の
集まる
場所
を作る

移住して
きた
人への
対応
が必要

他の地域
の
成功
事例
を
学ぶ

町の
魅力を
発信
する
場所
を作る

廃校
跡を
活用
する

町の
魅力を
発信
する
場所
を作る

山を
活用
して
観光
拠点
にする

町外
に
移住
者
を
受け
入れる
場所
を作る

若者の
定住
を
目指
す

集めた
企業
を
活用
する

役場
と
民間
の
連携
を
強化
する

町の
魅力を
発信
する
場所
を作る

企業
を
活用
する

観光
の
魅力を
発信
する
場所
を作る

人の
集まる
場所
を作る

町の
魅力を
発信
する
場所
を作る

町の
魅力を
発信
する
場所
を作る

町の
魅力を
発信
する
場所
を作る

町の
魅力を
発信
する
場所
を作る

町の
魅力を
発信
する
場所
を作る

課題（前期基本計画策定時）

新たな課題

まちの魅力が認識できていない	まちの魅力が発信できていない	移住者が少ない	コロナ禍の影響大	関係人口（よさの者）づくり	海の京都エリア内での周遊・滞在につなげていない	体験プログラムが不足している	空き家需給ミスマッチ
----------------	----------------	---------	----------	---------------	-------------------------	----------------	------------

分野3

みんなが自分らしく幸せに生きるまち【健康と福祉】

健康・福祉を支える人財の育成と確保

- 資格取得に対する補助制度の構築や、必要な研修機会の充実
- 地域医療体制の維持
- ちょこボラ精神の醸成
- 農福連携などによる雇用づくり
- 医療福祉現場の離職の予防と復職の促進
- 町内外、国籍を問わない人財の確保
- 介護ロボットなどの先進技術の導入 ・ ゲートキーパーなどの相談員の養成

福祉現場の人手不足を補うための取り組み

資格取得のPRと補助強化
福祉教育の充実
福祉現場・介護現場で働く人への給与UP

「元気な心と体づくり」の推進

- 健康づくりや生きがいづくりの意識啓発と情報提供
- 保健や医療、福祉、教育が連携した健康指導や相談体制の充実
- 特定検診やがん検診の受診率向上への取り組みの推進
- 心と体の健康づくりに関する学習機会や運動機会の充実
- 「健康貯金」を目的としたコミュニティづくりの推進
- 気軽に運動できる場の維持、整備
- 地元食材、家庭の味を大切に食育の推進

ポイント毎

福祉の総合窓口の設置
公民館事業の進捗確認と取り組み

楽しむ人をつくら

心のよりどころの充実

- 世代間・同世代における交流の推進
- サロンなど地域における居場所づくりの推進
- 見守りの強化や相談機会の充実
- 認知症患者や要介護者、障害などの支援が必要な方及びその家族への支援体制の充実
- 災害時の地域での支援体制の充実

より居るの拡散
3(3030)者宅への訪問

誰もが自分らしさと生きがいをもって共生できるまちの推進

- 元気な高齢者の生きがいづくりの推進
- 支援を必要とする人の生活基盤の改善及び教育
- 就労・社会活動の機会の充実 ・ 障害への理解向上及び多様性を認め合える心の育成

やりたい事をする
インターネット利用への教育(高齢者へ)
敬老会の有り方
生活困窮者の支援
村役等負担軽減
町内事業所の階室を職員用にする
父子家庭への福祉の充実
個人の能力を生かした活動支援(親が代わって)
助け合い
自立あり

民間の連携!!

課題 (前期基本計画策定時)

保健・医療・福祉サービスの担い手不足	健康に対する意識が低い	健康づくりへの参加が少ない	支援や心のよりどころが必要な人への支援体制が不十分	コロナ禍の影響大	人材確保や職場定着につながる制度構築	支援の必要な人に情報が届いていない	企業と障害者・支援者がつながる機会が少ない
--------------------	-------------	---------------	---------------------------	----------	--------------------	-------------------	-----------------------

新たな課題

分野4

つながりで笑顔を未来につむぐまち【出産と子育て】

新たな命の誕生を応援

- ・母子の健康づくりの推進
- ・妊娠・出産から乳幼児期の不安や負担を軽減する体制の充実

切れ目
ない
サポート

親子の笑顔の暮らしを応援

- ・多様なニーズに応じた幼児教育・保育サービス（学童保育含む）の充実
- ・子ども・家庭に応じた支援と連携の強化
- ・子育て世代の交流の促進

孤立
ない
子育て

施策
サービスの
周知
(行政・民間)

行政と民間
一歩に
住民・民間
の
声の
カタチ
しなやかに

おじさんおば
さん、他人に
けわいからで
もらえる環境

地域ぐるみの子育て力の向上

- ・地域ぐるみで育む意識の向上
- ・幅広い世代交流による子どもの育成
- ・子育て支援・見守り活動の推進
- ・子どもが安心・安全に過ごせる場の拡充
- ・子育てと仕事の両立に対する職場の理解の促進

子育て情報
悩み相談
できるつばさ

情報か
いらない
(はり)

保育現場
教育現場
先生が大変

スマホ
簡単に入手

連絡先
相談先が
すぐ分かる

特性が
生かせる
環境

フリー
スクール
など
伸ばせる場

親と子の学び・育ちの場づくり

- ・妊娠・出産・子育てに関する学習の機会の創出、知識の普及及び啓発
- ・食育の推進
- ・次世代の親の育成

夫婦の
勉強会

課題（前期基本計画策定時）



新たな課題

民間が開か
れる場が
必要!

分野5

魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち【教育と文化】

一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成

- ・ 与謝野町に誇りを持てる子どもたちの育成
- ・ 学びの基礎を育てる就学前教育の充実
- ・ 質の高い教育による学力の充実・向上
- ・ ICT教育・グローバル教育の推進
- ・ 地域と学校による連携・協働組織の構築

一人ひとりを大切にす環境の整備

- ・ 心身ともに健やかな子どもの育成
- ・ 学校の適正配置の推進
- ・ 安心安全な学習環境の整備・充実
- ・ 適切な就学指導と教育支援の推進

生涯学習社会の実現と人権教育の推進

- ・ 様々な要請に応じた社会教育の推進
- ・ 社会教育施設の適正管理・適正配置の推進
- ・ 公民館活動やふるさと教育の推進
- ・ 多彩な文化活動・自主活動の推進
- ・ 青少年育成活動の推進
- ・ 地域ぐるみで子どもや家庭を支える連携・協働体制の構築
- ・ 図書館の充実
- ・ 人権教育の推進
- ・ 高校・大学との連携・協働の推進

生涯スポーツ社会の実現

- ・ 社会体育施設の適正管理・適正配置の推進
- ・ 生涯スポーツの質の充実
- ・ 特色ある体力・健康増進活動の推進

文化財の継承と発展

- ・ 文化的景観・史跡など文化財の価値の啓発
- ・ 文化財の保護・保存と活用の推進
- ・ 歴史文化基本構想の策定と推進

子どもに
興味を持たせ
伝えよう。

子どもの
孤立化
(ヤリニニニ)

公民館の
更なる
活用

親子で学ぶ
公民館活
動

樹木
や
地蔵の
活用
フィールド

木に
おかけに
ステーション
設置
してほしい

各
地区で
各種
スポーツ
教室
の
実施

地域の
子ども達に
文化を
知ってもらう

町の
歴史を
子ども達に
教える

地域の
歴史・
文化の
楽しさを
伝える
教育

最近
文化の
活用
してほしい

祭りの
地域
行事を
継承
する

地域の
歴史を
教える
子ども達
に
伝えて
ほしい

地域に
対して
授業
料
無料

施策
の
周知
(行政
員
間)

コロナ
禍
の
影響
が
大きい

支援
を
必要
とする
子ども
が増
えている

祭りの
継承
が
不足

子どもの
発信

課題 (前期基本計画策定時)

新たな課題

教育に対する社会的要請への対応

若年層の流出

与謝野町ならではの教育の構築

コロナ禍の影響大

問題事象・不登校出現率増加

子どもの貧困化

支援を必要とする児童生徒増加

生涯学習・生涯スポーツの拠点施設の今後のあり方

文化財の継承者減少

分野6

美しくて住みやすい安心安全なまち【自然環境と生活環境】

自然環境保全と循環型社会の構築

- ・ 地球温暖化対策の推進
- ・ 自然保護活動の推進
- ・ 不法投棄防止対策の促進
- ・ ごみ処理体制の充実
- ・ 廃棄物のさらなる減量化と再利用、再資源化（リサイクル）の推進
- ・ 下水道などによる水質汚濁の促進
- ・ 環境衛生施設の適正管理

災害に強い安心・安全なまちづくり

- ・ 山、川、海の整備の更なる促進
- ・ 遊休農地の保全管理
- ・ 防災訓練などによる防災・減災の意識づくり
- ・ 消防・防災力の維持強化
- ・ ライフラインや建物の耐震化の推進
- ・ 総合的な危機管理体制の強化

安心・安全に暮らせる地域づくり

- ・ 安全な交通環境の構築
- ・ 危険空き家対策の推進
- ・ 地域防犯力の向上
- ・ 消費者保護対策の推進
- ・ 有害鳥獣対策の促進

誰もが住みやすいと感じられる生活環境の構築

- ・ 世代をこえた交流の促進
- ・ 情報通信環境の充実
- ・ 利用しやすい公共交通の確保

資源の有効活用で持続可能なまちの構築

- ・ 適正で合理的な土地利用の推進
- ・ 美しい景観の保全・活用
- ・ 公営住宅の計画的な施設整備及び維持修繕
- ・ 道路や公園など施設の整備及び維持管理
- ・ 上下水道事業の持続可能な経営基盤づくり
- ・ 空き家等活用の推進

空家バンクの確立
システム作成

木材の活用
活動を行う
課題の克服

ハビタタス

災害時に使う
集会所・公民館
が近いかい

隣組の声
の活用
目録

マスタープラン
活用を行う

個別の
危険
を把握

簡易化
を促進

各地域の
防災組織の立ち上げ

山元空に
おこす

地元の
起死回生
策を講ずる

機材を
道路整備
に活用

自転車
の危険
を減らす

山の管理
を徹底
して行う

子供を
自然
に慣らす

砂防
施設の
必要性

ICT
の活用
を促進

建設業者の
参入!!

(前期基本計画策定時)

農地の管理
を徹底
して行う

砂防
施設の
整備

高齢者
の
情報伝達
を促進

自転車
の危険
を減らす

風力
や水力
発電
の促進

林業
の
活性化

山元
空に
おこす
策を講ずる

行政
に
山元
空に
おこす
策を講ずる
を促す

KYT
の
活用

新たな課題

管理されていない山林・耕作放棄地の増加	鳥獣被害増加	空き家増加	ライフライン(道路・水道管)老朽化	異常気象による自然災害への備え	犯罪被害	脱炭素化の具体的な取組みが少ない	常習浸水地域の早期解消	役場技術職員不足により災害復旧対応が困難	住宅耐震化工事実施件数少ない	情報弱者の発生	インフラ整備の財源確保
---------------------	--------	-------	-------------------	-----------------	------	------------------	-------------	----------------------	----------------	---------	-------------

分野7

住民が主人公となるまち【地域協働と行財政運営】

地域人財の育成

- ・ 自分事として考え行動する地域人財の育成
- ・ 生涯学習と研修機会の創出

協働のまちづくり

- ・ 協働のまちづくりに関する基本ルールの制定
- ・ 住民による地域自治の推進
- ・ 多様な主体によるまちづくりの推進

みんなが互いに認め合い 助け合うまちづくり

- ・ 男女共同参画社会の推進
- ・ 人権意識の啓発

未来を見据えた行財政運営

- ・ 政策評価を基軸とした自治体経営
- ・ 公共施設の効率的な運営・整備
- ・ 先進テクノロジー活用検討・推進
- ・ 行政単位を超えた広域連携の検討・推進
- ・ 行政職員の資質・専門性の向上

見える、聞こえる、 言えるまちづくり

- ・ 情報発信力の向上
- ・ 情報共有化の仕組みづくり
- ・ まちづくりへの参画機会の充実

議会中継を
みたいと思える
討論を
したい!

議会の質を
あげる

女性議員

協働
住民行政
議会

地元の人から
行政
市民のスキル
を学ぶ

地域で
助け合える
言える
(隣組とか?)

集金常会
(地域内)

目の行き届
くにくい人への
支援

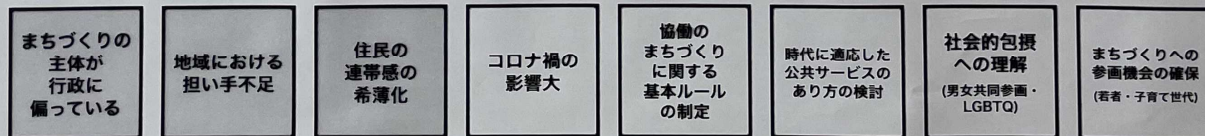
アウトリーチ
を強化

質のよい
議会に

まちづくりへの
関心度を
あげる

住民の動き
↓
議会のあり方

課題 (前期基本計画策定時)



新たな課題